



北のシュプール

第502号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

2025年指導員検定会報告

教育部 山口 くに子



2025年2月15日～16日の2日間にわたり、北長沼スキー場において上級受検者3名・中級3名・初級3名、合計9名が検定会に挑戦いたしました。昨年の11月には養成理論を受講し今年の1月には検定員の実技指導を受け、また技術部主催の練習会にも参加したり個人練習も頑張ってまいりました。受験生同志、助け合い励ましながら一発勝負というプレッシャーをはねのけ、クラブからの応援を力に皆さん頑張りました。今回は初級受験者、琴似ステップの伊藤 健さんが合格しました。おめでとうございます。またあと少しの点で残念な結果となったお二人が志賀高原スキー場で行われました検定会に参加

し、見事合格されました。札幌スキーフレンズの三浦 裕子さんが上級指導員に、オフピステの塩野谷 勝子さんが中級指導員に合格されました。本当におめでとうございます。

来シーズンはたくさんの方々が指導員に挑戦をして北海道スキー協を盛り立てて行こうではありませんか。

上級指導員合格の報告

札幌スキーフレンズ 三浦 裕子



去る4月5、6日に、志賀高原一の瀬スキー場にて開催された「関西ブロック主催初中上級指導員検定会」に参加し、無事、上級指導員合格証を頂いてまいりました。今後、全国スキー協で認定を受けてから、晴れて上級指導員になります。

志賀高原行きを決めた理由は、今シーズンが一部合格3年目の最終年度で、もし今年度で不合格だった場合、また来期から

すべての課目を取得しないとならないため、今期で決めてしまいたいという強い思いもあり、2月の北長沼



での検定会では基準点に僅かに及ばず不合格だったため、その場で志賀高原の検定会でリベンジしたいと決断しました。

私の滑りの課題は、応用種目のコブと全体的な力強さや迫力、スピード感でした。リベンジすると知った大先輩レーサーが応援してくださり、スキー場までの送迎や課題克服に向けた練習に付き合ってくれました。そして合格を勝ち取る手段として、苦手なコブを他の種目の加点で補い、平均点で75点を目指そうという作戦を立て、検定会に挑みました。総合滑降77点、小回り76点、大回り78点、コブ72点 平均75.75点の作戦通りの結果でした。上級指導員を目指そうとしてから、7シーズン目での合格でした。多くの方に支えられ、地道に取り組んできた事が少しずつ大きくなり、合格という実りに繋がりました。また、オフピステの塩野谷勝子さんも一緒に志賀高原で受検しましたが、北海道の仲間と臨めたことが精神的な面ではリラックスでき、合格の要因として大きかったと感じています。

検定会には14名が受検しましたが、例年だと受検者はほんの数名しかないそうです。そのため、主管である大阪スキー協所属の『北大阪スキークラブ』が今後を見据えて指導員養成について話し合い、

受検者や応援団を組織し、加えて私たち北海道や東海ブロックの愛知からも参加があり14名という多さに繋がったそうです。取り組んだ結果は、北大阪クラブから2名の合格者、及び一部合格者も出て、クラブとしては来期に向けての手応えも感じたそうです。

今回の3泊4日の検定会の旅では、他都府県スキー協の方々から歓待を受け、部屋で每晚交流、スキー場では共にリフトが動かなくなるまで練習し頑張りました。北海道の検定会にも北大阪の方が検定を受けに来てくれ、他のスキー協との繋がりが広まったシーズンだったと思います。帰りに立ち寄った善光寺では合格したことへ感謝の合掌。一足早い桜満開の木の下で「桜咲く」の言葉にちなみ記念撮影をして帰路に着きました。

今後、私のように挑戦する方がいれば、努力して積み重ねた経験と時間は、きっと自分への力となると信じて頑張ってもらいたいと思います。今まで応援し支えてくれた方々へ感謝の気持ちを忘れずに、スキー協発展の一翼になれるようこれからも努力して行きたいと思います。

2025 春期全国技術部会

全国デモ 宮腰 大



今年も長野県志賀高原横手山スキー場で行われた全国技術部会に参加させていただきました。

4月の晴天に恵まれた初日は雪上での実技講習が存分に行われ、教程種目の確認やシーズンテーマ「真下への横滑り左右連続から谷回りターン技術への展開」について各ブロック技術員が実施された伝達指導法紹介、野瀬技術部長による来シーズンテーマの伝達が行われました。

各人の理解、技術のレベルア

ップにつながりました。

2日目はあいにくの雨で座学に切り替わり、机上で来シーズンテーマの伝達やスキーの操作方法、滑走時の意識、細かい感覚についての議論・質疑応答を行い様々なことを共有でき有意義な時間となりました。

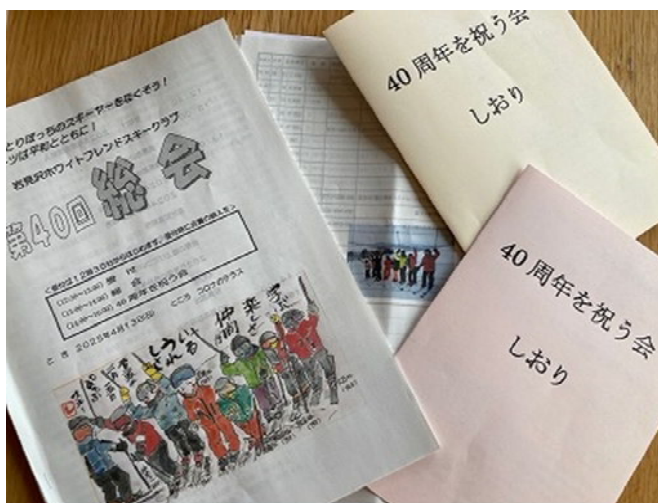


全国各地の指導員との交流を通じ、多様な視点と実践的アイデアを得られたことも大きな収穫でした。学びを持ち帰りこれらを統合し自分自身のさらなるレベルアップはもちろん、北海道スキー協の指導員のレベルアップや新しい指導員の養成、さらには若手指導員を増やしていくことに力を入れていきたいと改めて思いました。もうすでに来シーズンの技術部会が待ち遠しいです。

第40回総会及び40周年を祝う会を開催

岩見沢ホワイトフレンズスキークラブ

西飯 行弘



4月13日(日)、岩見沢市民会館1階のコロナのテラスにて総会及び祝う会を25名の参加で開催しました。市民会館内のレストランは、日曜日とあって総会開始の13時となっても一般客もまだまだ多く、一般客に配慮しながらの発言やBGMがやや大きいなどの些細な障害もありましたが概ね滞りなく進めることができました。総会では、趣向を凝らしたオフ例会の企画に至った談と新年度への展望が各部会から話され、スキー例会において秋元さん、粕谷孝さんが皆勤賞であったこと、少ない人数で健闘したクラブ対抗競技会の来季の必勝を全体で確認しました。その後全員が部会毎に集合し15分で

話し合い、部会長選任と大まかな企画の方向を決定し全体に報告しました。腹ペコの中で予定通り14時からはいよいよ祝う会・食事会の開催。しばらくは次々と運ばれてくる料理をむさぼりながら歓談を続け、後半はスピーチタイムとなります。トップバッターは当クラブ最古参秋元さんのクラブに入ったからこそ行けた海外スキーの話、その後最長老90歳の谷岡さん、30周年以降最初にクラブに加入した坂井さん、今回最年少で大学合格したばかりの中山楓雅くん、クラブを愛してやまない大石さんそれぞれのこれまでと今後のクラブとの関わりについて話がありました。会場全体がホワットしたムードに包まれ、周年行事としては40周年記念誌(11年間のニュースの抜粋を取りまとめ)と食事会、数人のスピーチと簡素なものでしたが、口々に「いい会だったねえ」と参加者達は会場を後にしました。



お知らせです

全国スキー協ホームページがリニューアルされます。

現在の検討課題 ・コンテンツ 不要なページ、必要なページを検討する ・ブロック・県のページ作成 → リンクページのリニューアル ・TOP ページの画像は定期的に交換 ・「地球沸騰STOP」サイトの新設と説明文の掲載 ・ヘルプマークのダウンロードサイトの新設と説明文の記載 ・会長挨拶のページを新設 ・スキーメイトのページを充実させる ・入会相談サイトの新設等です。

ご要望のある方は事務局金濱までご意見をお寄せください。

このたび、新日本スポーツ連盟岩手県連盟が「大船渡市山林火災募金」を呼びかけることとなりました。

大規模山林火災被害による大船渡市への災害復興支援募金のお願い

2月26日午後1時頃、岩手県大船渡市赤崎町で山林火災が発生して燃え広がり、焼失面積は2900ヘクタールにのぼり、1992年（平成4年）の北海道釧路市で発生した山林火災（焼失面積1030ヘクタール）を上回り、日本最大級の山林火災となり、大船渡市の面積9%を焼失しました。この火災にともない大船渡市では3月10日午前10時に979世帯、2424人に出していた避難指示を解除しました。大船渡市は、この火災で221棟の建物が被害を受け、このうち住宅が84棟全焼したとしています。東日本大震災復興支援「春休み子どもスキー」には大船渡市から17名の児童と父兄に参加していただきましたし、また、復興支援ウオークでは綾里地区を歩き三陸鉄道で盛岡まで乗りました。三度の大きな災害に見舞われた方々の一日も早い生活再建を望みます。以上のことから、1日も早い復興のため被災された方々への義援金として募金を行いますので、ご理解をいただき、是非ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年4月13日

新日本スポーツ連盟岩手県連盟 理事長 平井 正
岩手県勤労者スキー協議会 会長 佐藤 静雄

※ 募金用紙と一緒にクラブにお送りしております。

第5回理事会と第24回総会の会場、日程と主な議題について

- ①第5回理事会 日時 6月 1日（日）13時～17時
 場所 高等学校教職員センター 4階2会議室 ZOOM併設
 議題 第24回総会議案、その他

- ②第24回総会 日時 7月 6日（日）9時30分～14時
 場所 北海道高等学校教職員センター 4階大会議室 ZOOM併設
 議題 25年度活動報告と26～27年度活動計画
 25年度決算報告と監査報告
 26年度予算案
 役員選挙
 その他

- ③総会前の5日（土）14時～17時 第6回理事会を開催する。
 場所 高等学校教職員センター 4階2会議室 ZOOM併設
 終了後 懇親会を開催する 場所 未定

- ④総会のクラブ代議員の選出基準
 2025年会費納入クラブであること。
 会費納入数20名まで1名
 21名から40名まで2名
 41名以上3名の代議員で構成する。